

法学部

1. 教育研究上の目的

法学部における教育の目的は、法と政治を中心とする専門分野を深く掘り下げながら、できるだけ広い視野で現代社会の諸現象・諸問題を把握・分析する高度な能力を養うことにある。すなわち、温かい人間性を涵養しつつ、たえず真理を追求する気持ちを失わずに、自分で問題を発見し、検討し、適切な判断ができる能力を持った人材を、少人数教育を通して育成する。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

法学部では、各学科の履修規定に即して必要な単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、広い視野で現代社会の諸現象・諸問題を把握・分析する高度な能力を身につけていると判断した場合に、学士の学位を授与します。なお、この方針に基づく各学科において修得すべき能力は、各学科で別に定めます。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

法学部では、法学部の想定する広い視野で現代社会の諸現象・諸問題を把握・分析する高度な能力が身につくように、選択必修科目、選択科目、自由科目を設けており、それぞれの種類に応じ、必要とされる単位数を履修するカリキュラムを編成し実施します。なお、この方針に基づく各学科における教育内容、教育方法、教育評価については、各学科で別に定めます。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

以 上

入学者選抜ごとの評価項目

法学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。

※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	備考
一般選抜(コア試験)	筆記試験	◎	◎		
一般選抜(プラス試験)	筆記試験	◎	◎		
一般選抜(大学入学共通テスト利用入学者選抜)	大学入学共通テスト	◎	○		
学校推薦型選抜(指定校)	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由(志願票裏面)			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
学校推薦型選抜(公募制) ※政治学科のみ実施	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由書			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	活動報告書			◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
	英語問題	◎	○		
	論述問題	○	◎		
	面接	○	○	◎	
「外国高等学校出身者」 および「海外帰国生徒」対象 入学	志願票②(本学で何を学びたいのか、海外生活で何を得たのか等)			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	日本の高等学校の調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	外国学校の成績証明書	◎			
	資格証書	◎			
	小論文(日本語)	○	◎		
面接(日本語)	○	○	◎		
編入学	志望理由(志願票裏面)			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	筆記試験	◎	◎		
	面接		○	◎	